

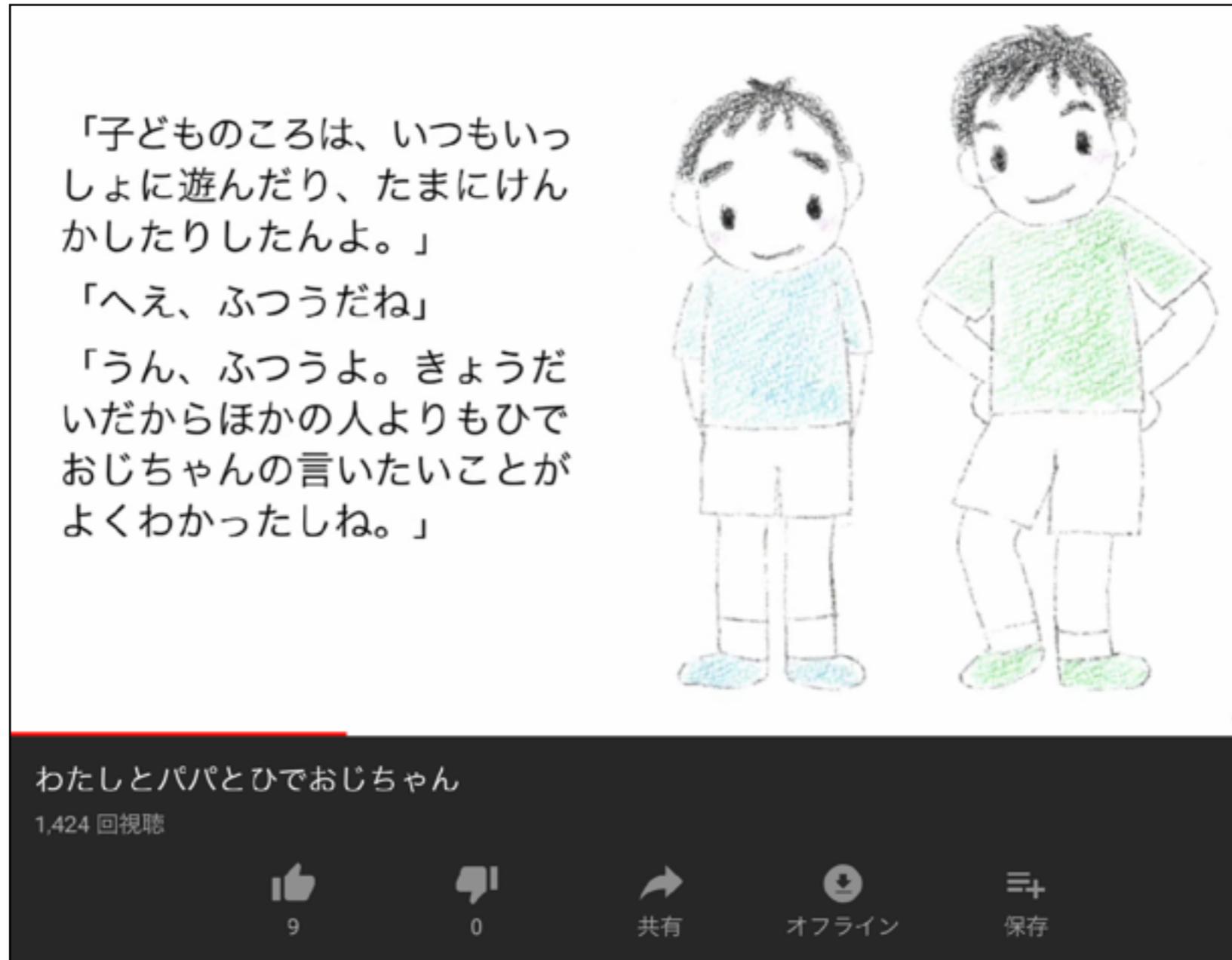
「魔法のダイアリー」プロジェクト最終成果報告会

趣味と生活の安定を図る 永続的なQOLの向上



大分県教育センター
指導主事 岡本 崇

本実践の対象者は、僕の弟「ひでおじちゃん」



YouTube 『魔法の啓発絵本』 チャンネル
「わたしとパパとひでおじちゃん」

<https://youtu.be/anPxPNiku-c>

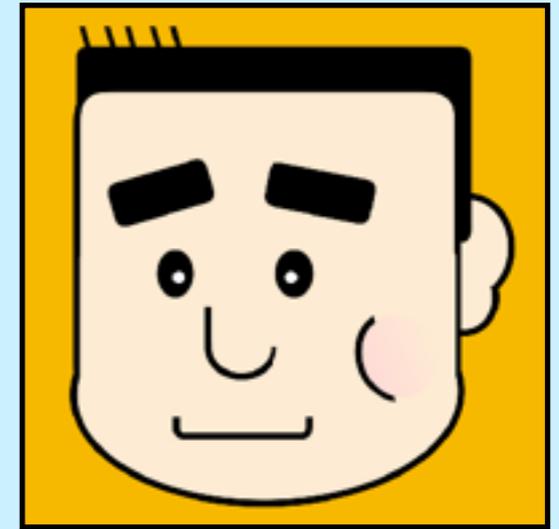


【対象者の情報】

○年齢 45歳

○障害名と生活の状況

- ・ 知的障害を伴う自閉症 障害者手帳 B2
- ・ グループホームで月～金、自宅で土日の生活
- ・ 職業実習として、クリーニング会社で勤務



○現在の状況

<性格・行動・他者とのかかわりの実態>

- ・ 基本的に温厚で、親しい人との関わりを好む
- ・ 必要最小限の会話などが可能で、関わりに困難を生じる場面は少ない

<自宅での生活・社会生活・余暇利用に関わる実態>

- ・ 一定のパターンのある生活を好み、安定して生活している
- ・ 余暇は絵や文字を描いたり、VHS ビデオ鑑賞などをして過ごす
- ・ 母親と一緒に商業施設での買い物などをすることを好む
- ・ 両親とレジャー施設を訪れ、フィルム写真を撮ることを好む

生活の安定を支える「趣味」

好きな番組を撮りためた
数百本のビデオテープ

中学生の頃から撮り
続けている写真

平成31年版
笑点カレンダー

「生活と情緒の安定の基
盤」として機能。

同級生の保護者から「余暇
を楽しむ趣味があって羨ま
しい」と言われるほど安定
している。



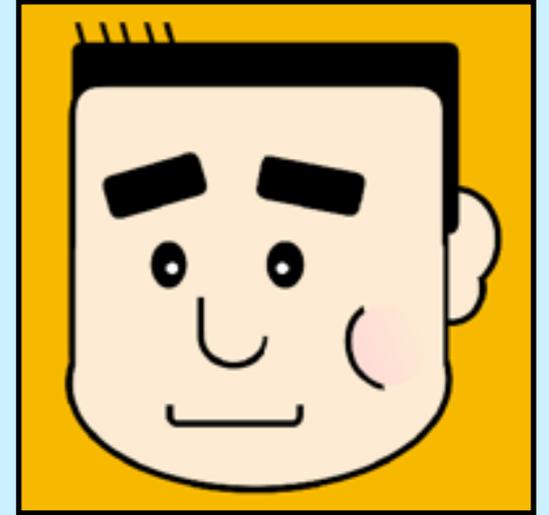
30年以上購読しているテレビ雑誌

「隠れ困難」をはらむ中年期障がい者

～本人・保護者ともに気づいていない困難の存在～

【本人の隠れ困難】

- ・ 関わりの固定化による世間との隔たり
→ 興味・関心も狭くなる
- ・ フォーマットとコンテンツの「アナクロ化」
→ 選択肢の減少、消失

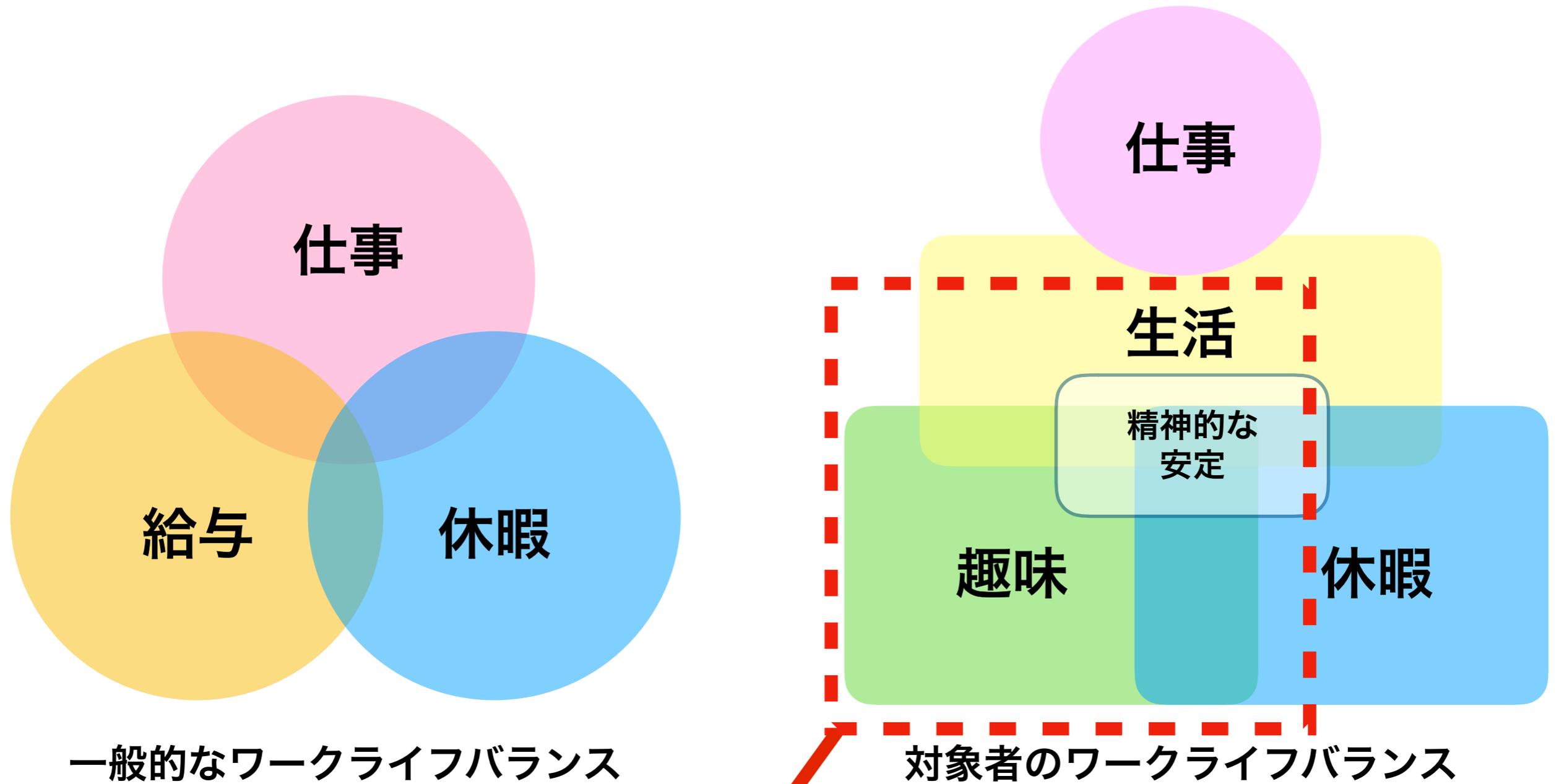


ゆっくりと確実に「負のスパイラル」

学校現場で言われる「将来」とは、基本的には
「卒業時点」のこと

事前に予見しにくく、卒業後10年以上たった生活について、在学時にはほとんど考慮されていない

「過去の強み」が「将来の困難」へ



近い将来、入手やメンテナンスが不可能となる
機器の活用の存続の危機に直面→趣味と生活の柱を失う

こだわりの傾向の解釈②



基本的なライフスタイル・嗜好は在学期間中に確立する

→外部からの刺激、指導を受けやすい

→一旦確立したライフスタイルは、変更が困難

外部からの適切な刺激で新たな
ライフスタイルを確立できる可能性

実践1：ビデオ視聴デバイスとしてのiPadの導入

【『永続的なQOLの向上』のために】

- ・対象者が永続的に趣味や生活を継続
 - ・親が抱える将来に対する不安を軽減
- 『永続的な』活用を身につけることが必要

☆スマホ・タブレットはサービスを利用する「器」

→UIは共通で、機器そのものの操作性に依存しない

大手サービスは利便性を重視してUIが簡素

→機器の世代交代に関わらず対応可能

→サービスの継続性が高く、『長期的なQOLの向上』

※善し悪しは別として、いわゆる『GAFA』が中心となるのは当面変わらないと思われる

【導入のタイミング】

あえてVHSのビデオデッキがトラブルを起こしたタイミングで、
代替の機器としてiPadの使用を提案

→全く異なる形状・操作方法の機器を提案することで、こだわりを回避

【導入した機器】

- iPad Air
- Wi-Fi環境(光インターネット)

【活用するメディア】

- Amazonプライムビデオ
- YouTube

※コンテンツの多様性から使用するサービスを決定



iPad Air

【実際の様子】

好みのタイトルを音声入力で検索して再生リスト化し、再生マーカーを指で移動させながら、再生時間カウンターで好みの場面を選び出し、再生する。



1ヶ月ほど使用した段階では、VHSビデオでの視聴は全視聴時間の10分の1に減少

YouTubeのAIレコメンド機能による
興味関心の広がり

実践2：支援機器としてのiPhoneの導入

【iPhoneの導入】

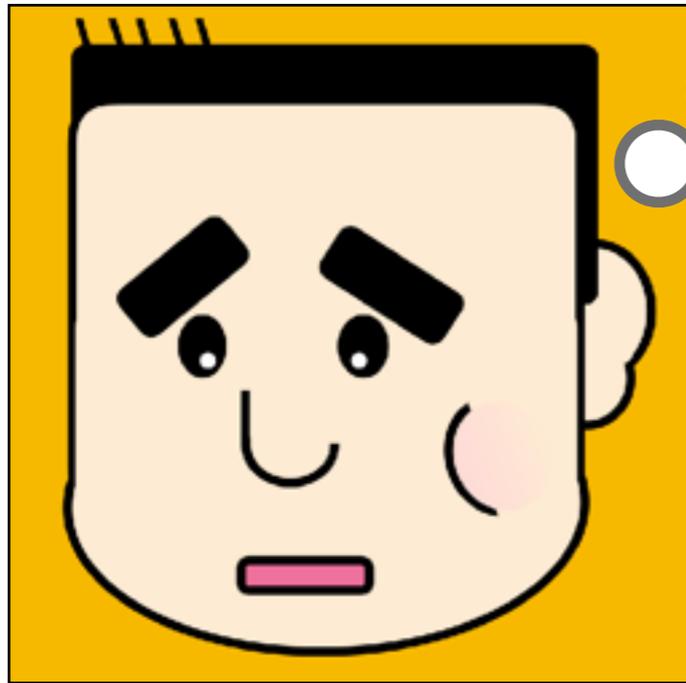
- ・ 連絡手段の確保、それによる単独行動ができる範囲の拡大で、対象者と親の双方の負担を軽減する
- ・ 「友達を探す」機能で対象者が単独行動をする際の行動パターンを見る
- ・ カメラアプリを利用することでフィルムカメラからの置き換えを行う
- ・ 地図アプリや検索アプリでの情報の提示



iPhone5s

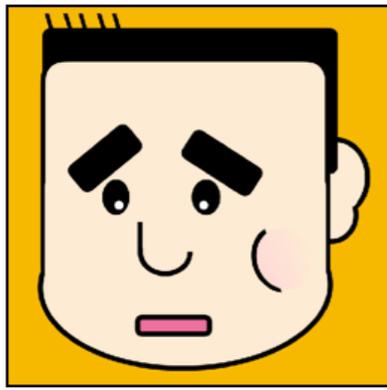


『大人』ならでの難しさ



兄ちゃんには
いろいろ
言われたくない…

過去、何度も携帯やデジカメの導入を勧めるが
「安定しているのに干渉されたくない」気持ち
家族ならでの感情かも



成人障害者の感じる フラストレーション

両極端な支援



「指導的立場」



「許容的立場」

→他者と「対等の関係性」が成立しにくい

最終手段「早苗姉さん」とiPhone導入の旅



早苗姉さんが大好き。

元・大分市教育センター
適応教室担当指導主事
「予定調和を崩す」存在

【成人障がい者への支援で最も重視すべきこと】

「対象者と親がこれまで生活してきた軌跡に最大限の敬意を払い、その生活スタイルの維持・継続を最優先する」

ただし...

生活が硬直化してしまわないように、
新しい刺激を与えてくれる存在、

対等の関係である存在も不可欠



iPhoneでの「写真」撮影

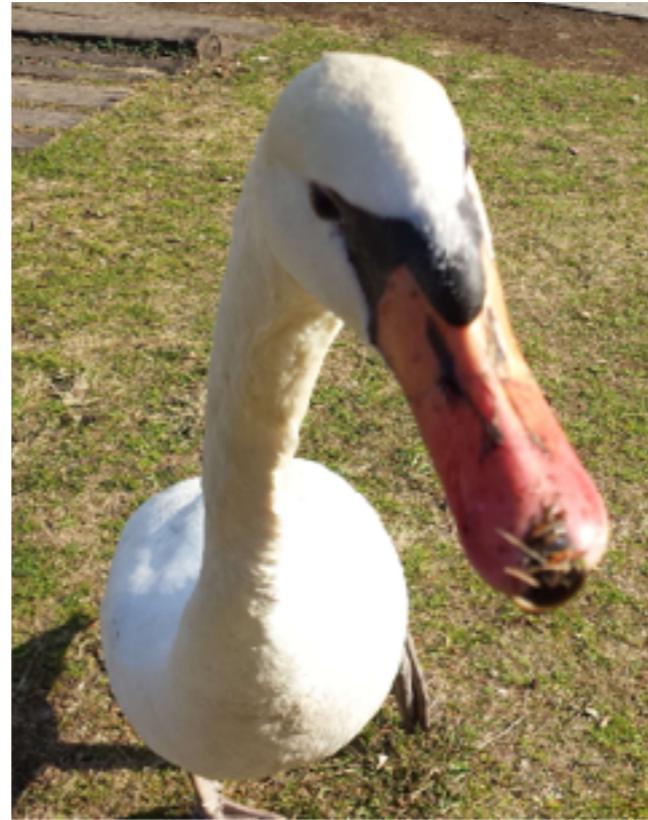
【iPhoneでの撮影】

これまでデジカメへの移行を拒んできたが、「姉さんを撮ってAirDropですぐにあげる」というように、目的があれば使う



気になった
ささいなもの
も撮影
→フィルム不要
のよさを実感

半年間で色々な場所に行きました。



変化その①



「自撮り」

変化その①

視野の広がり

これまでのフィルムカメラと
全く異なる撮影方法

自分も含めて全員を画角に収め、さらに背景も考慮する

→実は、非常に高度な空間認知が必要。
また、被写体すべてに配慮するなど、
文字通り「視野を広げる」必要がある。

背景はどうでもいい

興味なし



大好き

これまでのフィルムカメラ
での写真（イメージ）

変化その②

龍門の滝がない！



柔軟な対応

変化その②

こだわりの軽減

新しい経験の蓄積は
柔軟性を育む

普段と違う状況での行動を多く行うことで、どのような
場面でも柔軟に対応する力がついてきた



変化その④



早苗姉さんと、崇兄ちゃん
6月23日つれて行って下さい。
1 備門の滝
2 白田のダイリ
3 お食事
4 三連水車
5 カモ
6 キタムラ
よろしくお願いします。
岡本英明

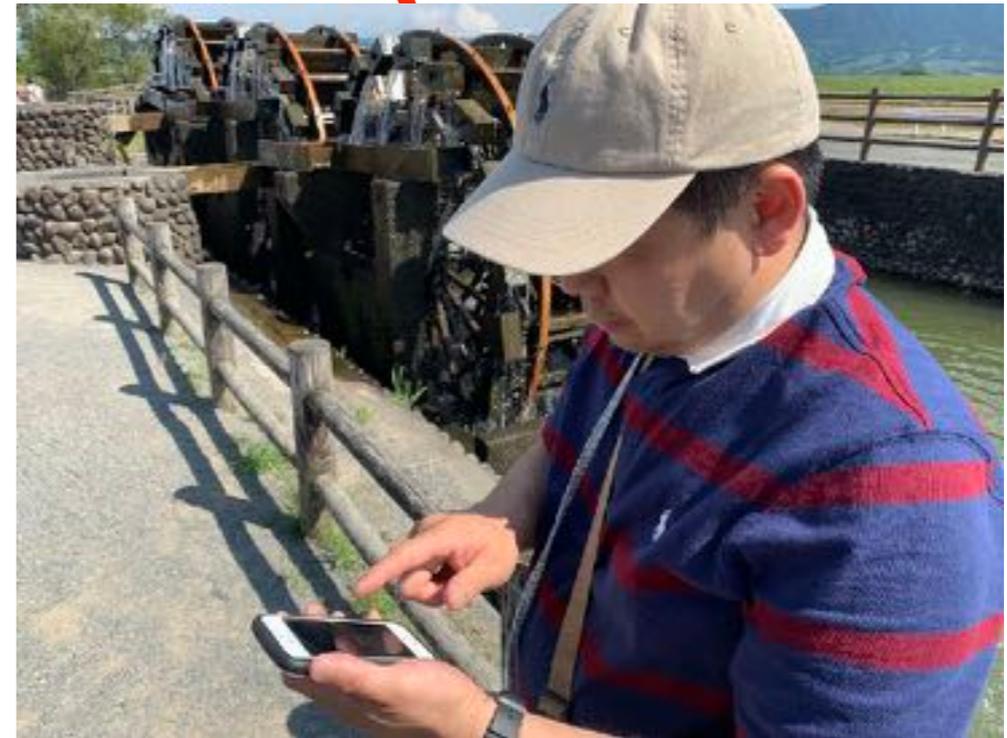
検索力・企画力・伝達力

自分の希望する場所を調べてコースを作り、手紙に書いて早苗姉さんに伝える

変化その④



名物を調べ、
「日田焼きそば」
を提案



要所要所で
日程を確認



これまでになかった方法で検索・
提案することで、より相手に納得
してもらえらるということを学んだ

…なのですが。

そんな中…母が不整脈で病院に運ばれる

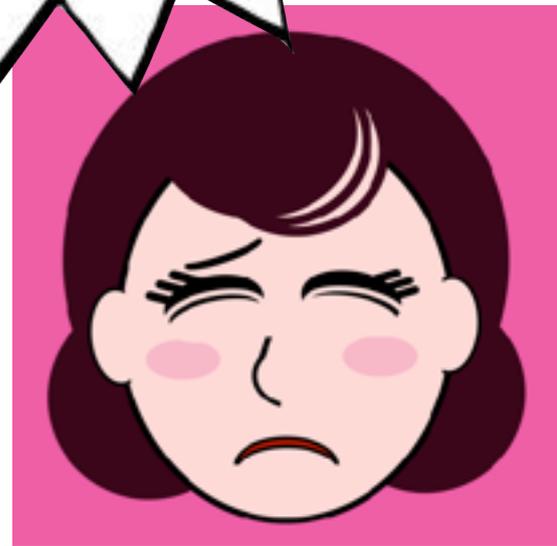
岡本家は一年間で救急車での搬送2回、緊急性の高い通院2回という異常事態！

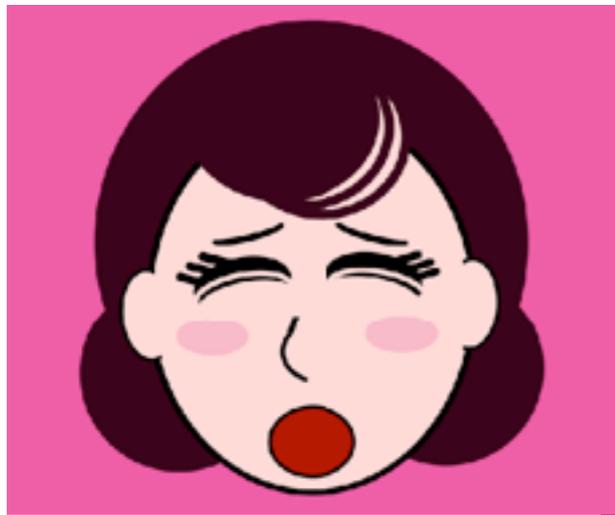


大事なかったものの…

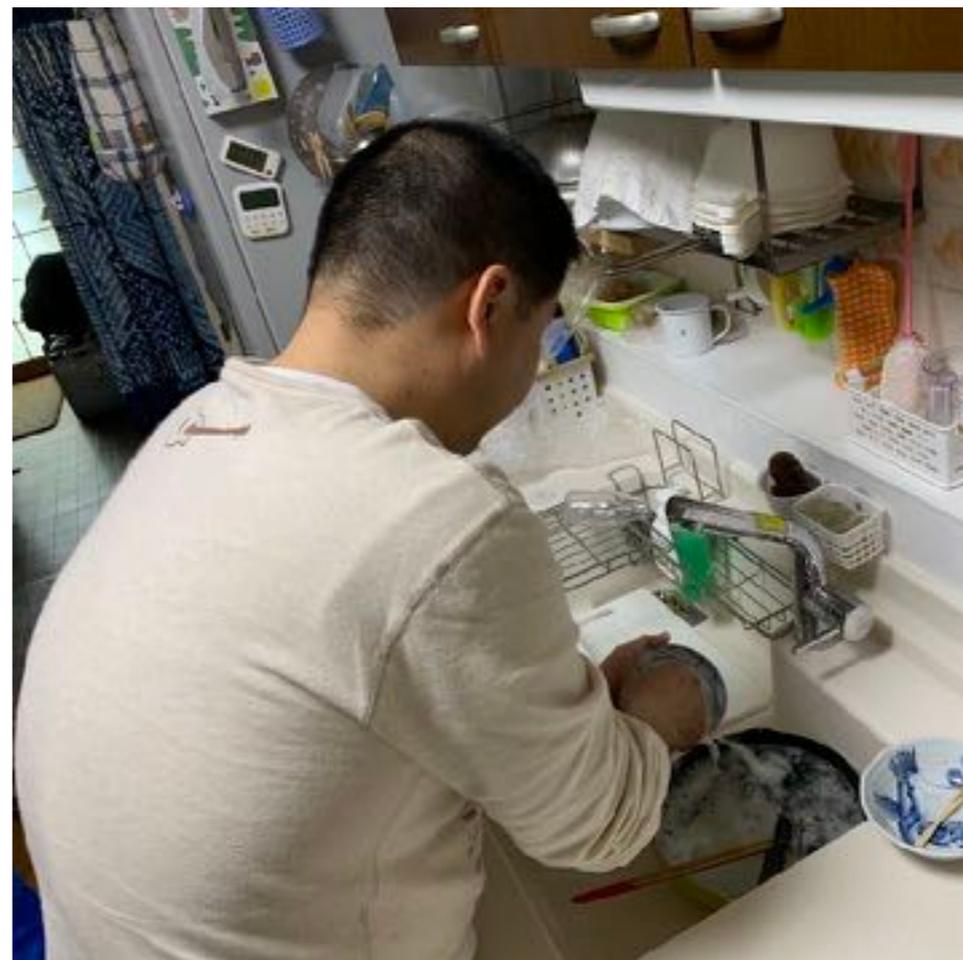
ひでを一人で
家におらせちゃん…
心配や…

私が様子を見
てきます！





ひでくん、
大丈夫! ?



自分でやたら豪華な昼食を準備し、洗い物まで!

A man in a white hoodie with the text "Blowin' In The Wind" is standing in a kitchen. He is making a peace sign with his right hand. A speech bubble next to him contains the text "母は病院ですよ。". The kitchen background includes a stove, a sink, and a washing machine.

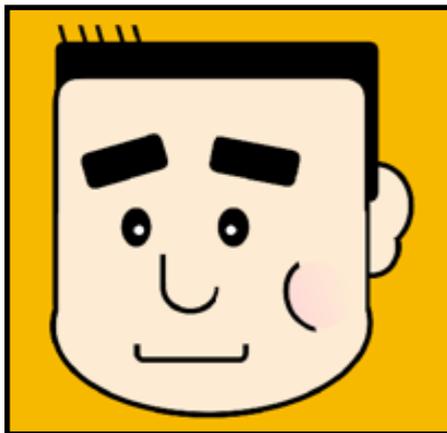
母は病院ですよ。

【わかったこと】

- 非常時、弟自身は非常に落ち着いている
(パニック・危険なことは少ない)
- 柔軟に対応することができる
- 逆に、危機意識は薄い

ならば、むしろ緊急時に
頼りになるのは弟の方！

今後の予定：緊急時の対応

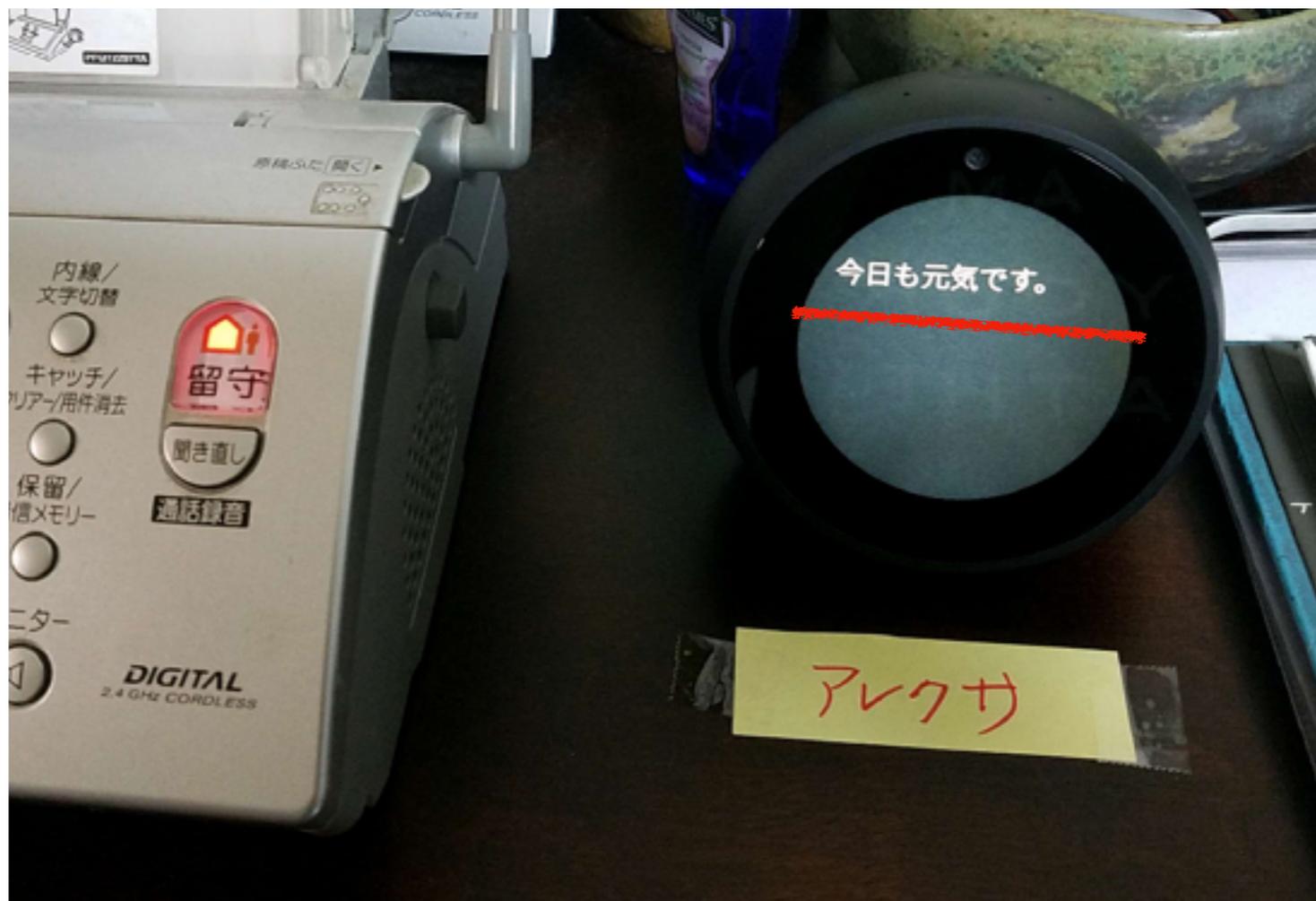


スマートスピーカー（Amazon Echo Spot）の導入

- ・カメラと画面を活用した、困った際のFace to Faceによる安心感を持てる会話手段の確保。また、自動化によって、緊急時の対応の仕方を音声と画面で教えてくれるようにする。



Amazon Echo Spot



ウェイクアップワード「アレクサ」をメモして毎日話しかける

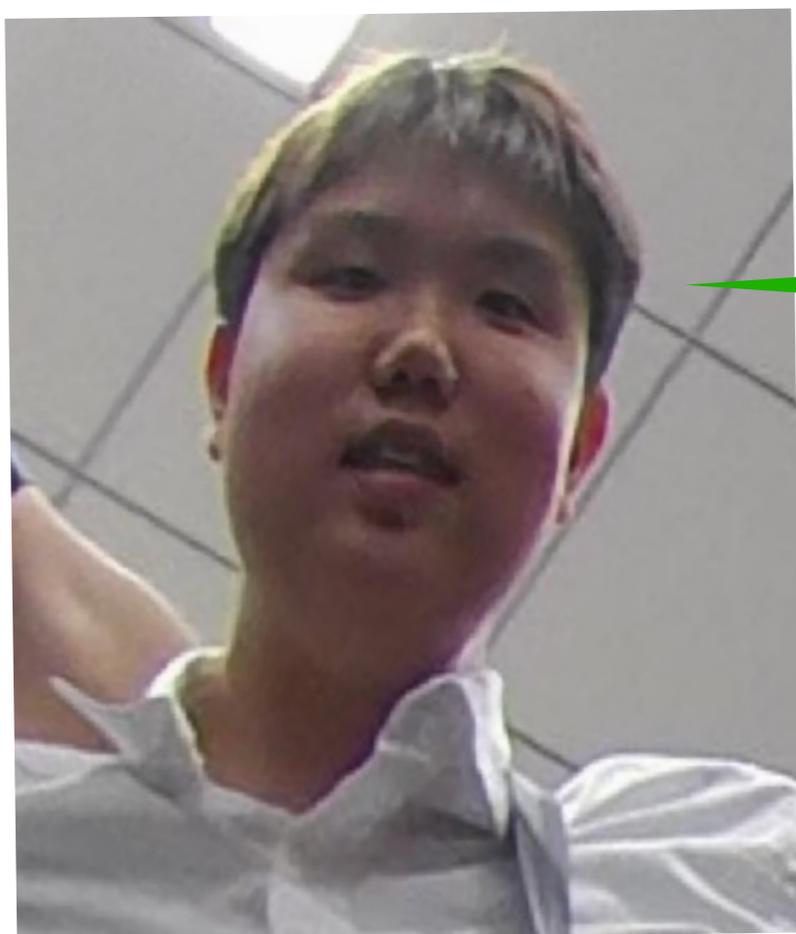
学びの連続性

学校を卒業して30年(あるいは60年)近く経っているが、
世界を広げる「学び」への意欲と喜びはずっと続く



そして…
新しい世代も。





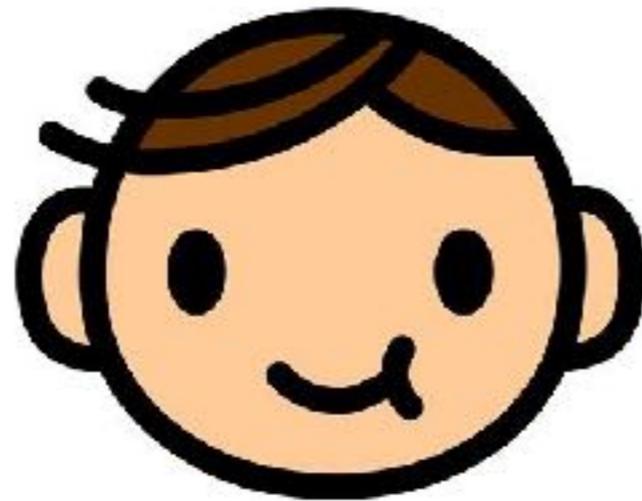
僕も含め、身体に重い障がいを抱えてる方は、なかなか海外旅行に行くのが難しいと思うのです。(長い時間姿勢を保てなかったり、足がしびれてしまったり)そこでVR技術を使い、世界中の世界遺産や素晴らしい景色を映像だけでなく、実際に行った体験ができるようになれば、たくさんの方に喜んで頂けると思っています。

そんなものを作りたいです。

「時間を無駄にしたくない。誰かの役に立つものを作りたい」

ハイブリット・キッズ・アカデミー

ICTを活用した学習法で読み書きの困難の解決を目指す、ソフトバンクの学習指導塾



東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野による 学習につまづきのある子どもたちの課題をテクノロジーを使って支援する研究を基に、テクノロジーの活用が有効である子どもたちが学びに必要なスキルを身につけることを目指し設立された。



すみれ



まさたく



アリアン



Makoto



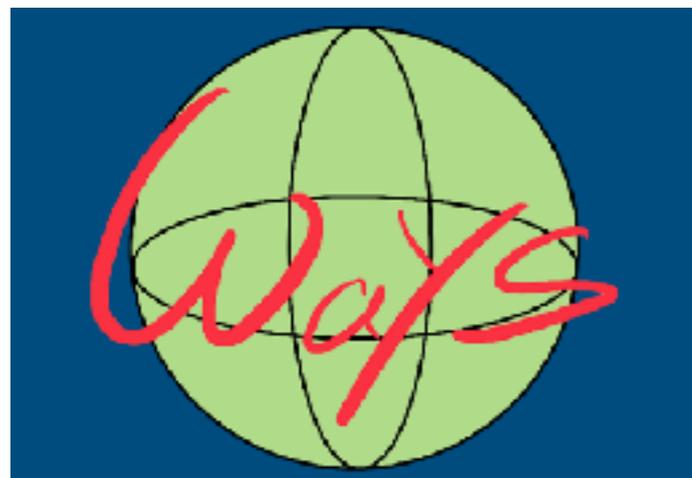
「同じ早稲田の学生として、一緒に作り上げたい」
世界各国に留学をする彼らが、仲間を募って世界中の動画を撮影し、
西田さんが編集・公開するプロジェクト



若い力に感化され、
続々集まる精鋭



Type-B Works for Continuous Employment Support
ELPIS・ONE
エルピス・ワン



プロジェクト名は
360Ways (仮)

「360度、無限に道は拓けているよ」という意味



ELECOM OMNISHOT



LG VR カメラ LG-R105



Tello

7月27日にソフトバンク本社ビルで初会議





チャンネルも開設しました



VR360ways

チャンネル登録者数 1 人

チャンネルをカスタマイズ

YOUTUBE STUDIO (ベータ版)

ホーム

動画

再生リスト

チャンネル

フリートーク

概要



今は登録者数「1」だけど、どんどん増えるはず！



**世代・性別・国籍・職業・立場・状況
一切関係ない「新しい道」が拓ける**